

### 明光電子(株)

代表取締役社長

## 大島 祥嵩氏



# 統合商社としての価値向上

技術に深い専門商社と、半導体や電子部品を迅速に幅広く調達する便利屋の二面性を合わせ、もつ電子の統合商社である明光電子。顧客のニーズに真摯に向き合い、開発量、生産量、システム全体から見た視点で、電子関連の最先端技術を企画提案する力量に、顧客からの信頼は厚い。創業以来長年にわたり培われた同社の広いネットワーク、深いサポート力がその基盤にある。

そんな同社を率いるのは、3代目代表取締役社長に就任してから満1年を迎えた代表取締役社長の大島祥嵩氏だ。社長就任以来、同社の経営理念「①いつも時代の先頭に、②早く(早いレスポンス)、広く(広いネットワーク)、深く(深いサポート)、③次代を築く誇り高い営業集団」を最重視している。

商社だから成し得るもの。そして③は、社員一人ひとりが人生の目的を持ち、かつ高い目標を自ら掲げて新時代を築いていくことを表している。

冒頭記載の専門商社+便利屋という同社の強みは、1979年福岡創業というルートと、創業当初からの方針「業界1位、悪くても3位までの部品メーカーと直接付き合う」。かつ、それぞれが80%は競合しない。そうして基板上を網羅する。「1」によって生み出された。まさに唯一無二の統合商社。一流の仕入先部品メーカーとも、高付加価値・多品種少量の製造・長期安定供給を重視される産業機器メーカー顧客とも、完璧な補完関係にある所以といえる。

たエッジノードのPoCは好例だ。水や液体がセパレーターに付着すると自己発電するセンサーの電力でマイコンを制御でき、外部電源が不要。メンテナンスフリーの利点がある。同PoCは、センサーの検知、発電した電力は発火や破裂に対する安全性が高い全固体電池へ充電させることができる。さらに、エッジ側と監視側との通信には特定小電力無線を採用。アラート通知などの役割を担う。この技術はインフラの水位管理、冠水検知をはじめ建築設備や工場配管の漏水検知などに活きる。

また同社は「拡大のための拡大はしない。筋肉質にしていく」という軸をふらさず、顧客への深さを追求。24年春からプライベート展示会に注力している。顧客の現場に直接出向き、その顧客の最終製品や特性に適した製品群を展示紹介する取り組みだ。顧客にさらに寄り添った製品提案が可能になり、展示製品

の仕入先メーカーから説明員も協力するなど、顧客や仕入先にとってWin-Winのサービスマ提供を実現している。

明光電子にとっても顧客ニーズを直接肌で実感でき、その場で統合商社の強みを発揮した商材および斬新なアイデア提案を行い、新たな開発提案創出につながるなどの効果も見込める。

一方、社内では各社員の目的・行動との紐づきの見える化を強化。各自各様の貢献が全社で共有され、互いが互いを支えあって成り立っているという事実を理解し合えるようになってきたという。仕事効率のよい社員から学ぼうとする動き、変わりゆく産業機器関連ニーズに対する提案事例を学ぼうとする者など、早くも相乗効果が見られ始めている。この見える化は既設のSFAツールをフル活用しており、さらなる進化の構えだ。

30代前半で一流というスピード感と躍動感も武器に、社員の個性を統合させ新たな価値を生み出すこと、こだわりつつ唯一無二の統合商社として顧客貢献に邁進していく。

【取り扱いメーカー】半導体メーカー、電子部品メーカーなど400社以上

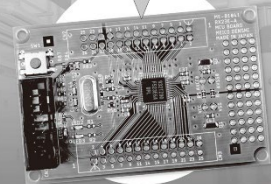
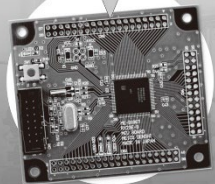
【営業拠点】横浜(デバイスセンター含む)、福岡、大阪、京都、北関東(さいたま市)、八王子

産業向けIoTエッジ制御に  
最適なMCU評価ボード

好評発売中!

RX23E-B ボード  
"24bitADC 高速版"

RX23E-A ボード  
"24bitADC 2Unit版"



RX23E-B  
(型式:ME-B1067)

RX23E-A  
(型式:ME-B1041)



横浜本社:045-471-2223(担当:野田)/北関東営業所:048-650-4755(担当:田中)/八王子営業所:042-649-4666(担当:増) 関西営業所:06-6260-5500(担当:小川)/京都営業所:075-254-3539(担当:木村)/福岡本社:092-502-2345(担当:野田) <https://www.meicodenshi.com> \*記載されている社名、ロゴ、製品名等は各社の商標または登録商標です。